

石狩川流域圏ルート



○平成23年度に石狩川流域圏会議を設立。「自転車で石狩川流域を結び流域全体の活性化を図ること」を目的として令和3年度から「石狩川流域圏ルート協議会」を設置し活動。

石狩川流域圏ルート協議会

- ・情報発信や受け入れ態勢の整備等を実施(ワーキンググループを実施)
- ・メンバー(石狩川流域圏会議及び行政機関)

快適で安全安心にサイクリングができる環境の整備

○路面表示(矢羽根)による安全対策

・車道における自転車通行位置を自転車利用者とドライバーの双方に示し「安全」な走行環境を確保するため、ルート上の主要な交差点部、急カーブの手前、トンネルの入口手前等に設置。



(矢羽根型路面表示設置箇所)



(案内看板シール)



(案内用路面表示)

○統一的なルート案内

- ・道路付属物(道路 標識、道路照明、固定式視線誘導等)の支柱に案内看板を貼付
- ・支柱がない箇所や設置河川管理用通路上では路面表示により案内。

サイクルツーリズム推進のための取組

○休憩施設の充実

・民間施設や関係機関と連携し、休憩施設の箇所の充実を図る。

○移動サポート体制の構築

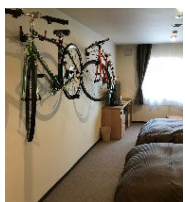
・地域の民間企業や運輸会社等との連携により、輸送サービスや緊急サポート体制、荷物輸送サービスの構築を図る。また、レンタサイクル等の移動サポート体制の構築を図る。

○情報発信(ホームページ、サイクリングマップ、PR動画等)

- ・ルートの魅力周知のため、民間企業や自治体と連携しサイクリングイベントやモニターツアーの実施を進める。
- ・フォーマットを統一した持ち運びしやすいサイクリングマップを制作し、道の駅や空港等の拠点施設と連携しながら配布する。
- ・サイクリングマップやルート案内、ルートの起終点や立寄施設を含めた1日の行程がわかる「おすすめルート」などを道の駅や空港等の拠点施設に掲示する。



休憩施設でのサイクルラックの設置や修理工具の貸出



客室内へ自転車持込が可能な宿泊施設、店舗での休憩スペースの提供(わが村は美しく-北海道との連携)



サイクリングイベントの実施

全長約333km

凡例

- 基幹ルート
- 自動車専用道路
- 一般国道
- 主要道道・一般道道
- JR線
- 道の駅
- 空港
- 港

